

〈耐震と免震〉

1年5組 宝満一馬

耐震とは日頃ニュースの特集などで見たことがあるのではないのでしょうか。

皆さんは耐震をしていますか？

耐震の大切さと重要なこと、さらに免震とはどのようなものかどんなメリットがあるのかを考えていきたいと思います。

（耐震構造）

耐震構造とは太く頑丈な柱で建物自体が地震に耐えうる強度で造られているものです。

阪神・淡路大震災である程度の評価をされた耐震構造ですが、

地震のエネルギーが直接、建物に伝わるため、地震の揺れ等で壁や家具の損傷を受けてしまいます。

実際に地震後の居住に耐えられなかったり、建物自体の資産価値が無くなったり、壁や転倒した家具の下敷きになって多くの方が亡くなりました。

現在の建てられているマンションにはこの耐震構造が多くみられます。

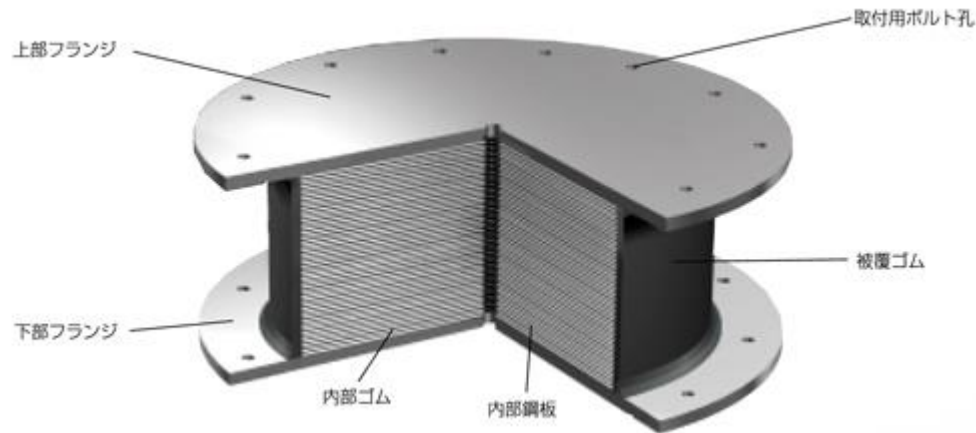
筋交いを用いて耐震をする方法もあります。

筋交いをした古い家屋と、していない古い家屋を用意して実験を行うと、断然筋交いがある方が長く持ちます。

耐震を怠らないことが生存への道かもしれません。

（免震とは？）

免震とは簡単に言えば建物を水平方向に自由に動ける台に乗せたようなものです。地面が速く動いても建物は重いからゆっくりとしか動かない仕組みになっています。これを可能にするのが免震装置です。一般的に使われている免震装置は、ゴムと鉄板を交互に重ねた「積層ゴム」です。



横方向には柔らかくゴムの弾力で動き、縦方向には固くマンションの重さを支えることができます。

（耐震の大切さ）

ここまで見てきて、やはり耐震をしているものとしていないものでは大きく被害の差があることがわかってもらえたと思います。たとえ耐震をしたとしても地震で100%被害を防ぐことはできないかもしれません。しかし、少なくすることは可能だと思います。ですから、「耐震しなくてもいい」や「してもどうせ無駄だ」などと言わずぜひ耐震をし、自分を守り、安心して過ごせるような家にしてみましょう。また、既に行っている人は他に危ないところがないか、今耐震しているところをもう一度確認してみてはいかかでしょうか。